

日本海洋学会幹事会 2018 年 5 月 17 日

日本海洋学会 2018 年度第 1 回幹事会議事録

日時：2018 年 5 月 17 日（木）13：30～18：00

場所： 東京大学本郷キャンパス理学部 1 号館 843 号室

出席者：日比谷会長、神田副会長、安藤、石坂、市川、岡、小埜、川合、北出、東塚、安田、安中、山田、事務局（毎日学術フォーラム：平坂）

議題

1. 議事録（案）承認（北出幹事）

2017 年度第 6 回幹事会の議事録（案）について確認し、承認された。

2. 審議事項

(1) 入退会について（東塚幹事）

2018 年 2 月～3 月の退会者（101 名）と入会者（7 名）を承認した。2017 年 3 月末の会員数は、1,544 名。

(2) 会費 3 年未納者について（東塚幹事）

3 年未納退会予定者 60 名について、声がけすることとなった。

(3) シンポジウムの後援・協賛等について（東塚幹事）

後援・協賛等について 3 件の依頼があり、承認された。

(4) 募集・推薦等の依頼（東塚幹事）

公募・推薦 3 件、シンポジウム・講演等 1 件、その他 3 件の依頼があり、学会メーリングリストにて配信した旨、報告があった。

(5) JOS ニュースレター掲載記事の著作権の取扱いおよび投稿規定の制定について

(安藤編集委員長)

JOS ニュースレター掲載記事の著作権の取扱いおよび投稿規定の制定（案）について審議し、投稿規定の制定（案）のみについて一部修正・確認の上、承認することとなった。

(6) 日本海洋学会細則の変更について（東塚幹事）

授賞式の時期に関して、日本海洋学会学会賞・岡田賞・宇田賞細則、日本海洋学会日高論文賞・奨励論文賞細則、日本海洋学会環境科学賞細則変更の提案があり、承認された。

(7) 日本学術会議主催「原子力総合シンポジウム 2018」運営委員会について（東塚幹事）

海洋学会から運営委員を出してほしい旨の打診があり、震災対応幹事 3 名と神田副委員長で議論し、「運営会議の委員は出さず、協賛依頼があった場合は受ける」とした案について審議し、承認された。

(8) 2018 年度秋季大会におけるシンポジウム等申請案件について（山田幹事）

申請のあったシンポジウム 3 件、ナイトセッション 2 件、イベント 3 件に加えて、学会

幹事会による企業説明会をイベントとして 1 件追加し、承認することとなった。但し、ナイトセッション「軍事研究の情報を交換しましょう」については、会が出された結論は日本海洋学会の総意ではないということを承諾いただいた上で承認とする。

- (9) 2020 年度秋季大会の担当地区について (山田幹事)
函館地区を予定していることについて評議員会で審議することとなった。
- (10) 2017 年度事業報告について (東塚幹事)
一部修正の上、承認された。
- (11) 2018 年度事業計画について (東塚幹事)
一部修正の上、承認された。
- (12) 2017 年度決算および 2018 年度予算について (安田幹事)
2017 年度決算および 2018 年度予算について承認された。
- (13) 受賞記念講演の座長について (東塚幹事)
日本海洋学会賞および日本海洋学会岡田賞の受賞記念講演座長に関して提案があり、承認された。
- (14) 2018 年度春季評議員会および総会議事次第案について (東塚幹事)
2018 年度春季評議員会および総会議事次第案について確認し、承認された。
- (15) 2019 年度秋季大会における日本海洋学会の企画について (日比谷会長)
富山で開かれる SCOR Annual Meeting の前後で予定している 2019 年度秋季大会における海洋学会からの企画について議論を行った。

3. 報告事項

(1) 会長

- ・ 3 月 28 日に、日本学術会議の地球惑星科学委員会主催で、大型研究計画のヒアリングがあり、マスタープラン 2017 に提出した課題 (深海アルゴフロートの全球展開による気候生態系変動予測の高精度化) を用いて発表した。4 月 25 日に採点結果が届き、14 件中 3 位の高総合評価を得た。
- ・ 4 月 5 日に、光易恒会員が今年度の JpGU のフェローに選出された。
- ・ 4 月 18 日に、「海の温暖化 (朝倉書房)」の増刷 (第三刷) が決定した。
- ・ 5 月 23 日の定時社員総会にて、JpGU の理事が決定する予定。海洋学会からの候補者は、河宮会員、市川会員、日比谷会長の 3 名。
- ・ 第 3 期海洋基本計画が 5 月 15 日に閣議決定され、内閣府の HP に公表された。
- ・ 国際共同利用・共同研究拠点認定の申し込みが京都大学化学研究所、京大大学生態学研究センター、愛媛大学 CMES などからあった。
- ・ JpGU の各種委員会の会議室は、問題なく取得できた。
- ・ 4 月 20 日に、防災学術連携体の委員が交代になり、神田副会長の代わりに升本会員と

丹羽会員が就任した。

(2) 副会長

若手支援の海外渡航助成に関し、応募が 1 件しかない、辞退が起こる等の問題があった。助成方法について、次回の若手との懇談会において、現場の声を聞く試みを行い、方向性を打ち出したい。

(3) 研究発表 (山田幹事)

2017 年度春季大会開催報告、2017 年度秋季大会開催報告、今後の大会 (2018 年度春季大会、2018 年度秋季大会準備状況 (採択セッションの報告等)、2019 年度～2021 年度の大会予定) についての報告があった。

(4) 編集

1) JO (石坂編集委員長)

①JO の発行状況 (Vol.72 (1) ~Vol.74 (3))、②JO 投稿・受理状況、③転載申請、④掲載料について報告があった。

2) 海の研究 (市川編集長)

①2017 年 3 月以降の出版状況、②2018 年度 5 月以降の出版計画、③投稿論文状況、④ J-STAGE での論文公開について報告があった。

3) ニュースレター (安藤編集長)

①JOS ニュースレター発行状況 (vol.7(4))、②JOS ニュースレター発行準備状況 (vol.8(1))、③編集委員の退任、④他学会とのバーター記事 (学会紹介) について報告があった。

(5) 広報委員会 (小笠幹事)

海の出前事業、秋季大会での広報活動、その他 2018 年度の予定 (JpGU ブースでの各種広報活動、学会パンフレットの更新、HP の更新) について報告があった。

(6) 海洋環境委員会 (小笠幹事)

青い海助成事業の一般提案型について、募集が終わったが、今年度の申請は 0 件であったこと、現在緊急提案型を募集中であること、青い海助成事業に対するアンケートを計画していることが報告された。

(7) 海洋観測ガイドライン編集委員会 (小笠幹事)

3 月に第 3 版、5 月末に第 4 版を出して、和文終了となること、英文は今年度後半までに完成させること、9 月末にガイドライン編集委員会を行い、委員を更新する予定であることが報告された。

(8) 海洋環境問題研究会 (小笠幹事)

5 月 21 日に研究会を開催予定であること、秋季大会でシンポジウムを開催予定であること、沿岸環境調査マニュアルを更新する予定であることが報告された。

日本海洋学会幹事会 2018 年 5 月 17 日

(9) 教育問題研究会 (安中幹事)

2017 年度活動報告および 2018 年度活動予定について報告があった。

(10) ブレークスルー研究会 (岡幹事)

5 月末からクラウドファンディングを開始する予定であることが報告された。

(11) 海洋生物学研究会 (山田幹事)

2017 年度動概要、会員動向、3 月 24~25 日に実施した「海洋生物シンポジウム 2018」について報告があった。

(12) 日本地球惑星科学連合 (川合幹事)

2018 年度 JpGU 大会の状況、2019 年度以降の大会、「理学・工学分野における科学・夢ロードマップ」の改訂、その他 (科学研究費研究成果公開促進費の不採択、寄付金、地球観測グランドデザイン、AGU によるプリントサーバ ESSORr の運用開始) について報告があった。

(13) 日本科学振興財団 (日比谷会長)

理事会において、むつ研究所の再建に注力されていることが報告された。

(14) 震災対応 (小笠幹事)

来年度以降の体制について検討していることが報告された。

(15) 水産・海洋科学研究連絡協議会 (神田副会長)

5 月 28 日 に東京海洋大学で開催予定であることが報告された。

(16) 若手支援 (神田副会長)

若手支援の方法、秋季大会の懇談会において若手の意見を聞く予定であること、若手支援の繰越金について注意していくことが報告された。

以上

次回幹事会

日時：7 月 25 日

場所：東京大学本郷キャンパス理学部 1 号館 807A 号室